

はねっと 7

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



今、私にできること

「民泊」で非常時に孤独に陥りがちな外国人を支援

有限会社シェルージュ(以下、シェルージュ)はシェアハウスや民泊施設も運営する不動産賃貸会社です。普段から観光や留学などで滞在する外国人宿泊者も多く、スーパーの場所やゴミの出し方、転入・転出手続きなど、外国人の困り事を熟知し案内しています。2020年4月上旬から、新型コロナウイルスの影響で帰国困難な外国人のため「帰国困難者支援プラン」の提供を始めました。このプランでは、水道、電気、ガスの手続き不要で、家具・家電・キッチン用品などの生活必需品がそろった民泊施設を特別料金で開放。6月上旬までに4人の外国人が利用しました。

日本でも新型コロナウイルスの感染者が報告されはじめた2月中旬、シェルージュも感染拡大防止のため民泊の予約を一時停止。ところが3月末頃から、長期滞在を希望する外国人からの問い合わせが数多く寄せられました。「渡航制限もかかっているのに、何かおかしい」と感じたスタッフが事情を聞いたところ、飛行機の運休・減便による帰国困難者と判明。他にも、



休業要請による業績悪化で住み込みの職場から解雇されたり、ホテルなどから外国人というだけで宿泊を拒まれたりしたことで、行き場をなくした外国人がいることが分かりました。そこで、すぐに社内で彼らを救済するためのプランを協議し決定。除菌剤の設置、宿泊者への手洗い促進、検温と行動履歴の記入依頼など感染予防対策を徹底し、受け入れを行いました。また、長引くであろう生活に役立てて欲しいと、日本語の会話本を提供。宿泊者が困った時には翻訳機を駆使し、携帯電話やLINEで連絡を取り合えるようにしました。民泊ができることを考え、いち早く支援を行ったシェルージュ。本店事業部広報の秋田保彦さんは、「自分たちの行動から支援の輪が広がれば」と話します。



▲台湾からワーキングホリデーで来日した3人組

自炊ができるので滞在費を節約できました

受け入れてもらえるアパートもなく、ホテルは高額で困っていました



◀中国からの留学生

今後は、外国人の他にも倒産や人員整理に伴う社員寮の退去など、住まいに困った日本人も対象にしたプランも視野に入れています。

広報の秋田さん▶



有限会社 シェルージュ TEL 022-296-3076 / FAX 022-296-3077
HP <http://www.chezrouge.com> Mail cielhouse@chezrouge.com
営業時間 9:30 ~ 18:30

仙台多文化共生センター センター長 菊池哲佳さん



ことし しんがた かんせんしょうかくだい えいきょう がい
今年は新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で、外国人の方々のなかには不安を抱えたまま仙台での新生活、
しんねんど むか かた おお おも せいかつ こま
新年度を迎えた方も多いかと思います。生活で困ったこと、
しんばい せんだいたぶんかきようせい といあ
心配なことがあれば仙台多文化共生センターにお問合わせ
ください。

■仙台多文化共生センター

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語など18言語で相談を受け付けています。

通訳サポート電話 022-224-1919

※毎日9:00~17:00(月に1~2日程度の休館日を除く)

■(公財)仙台観光国際協会 国際化事業部

ホームページでは、新型コロナウイルスの感染症の情報を随時更新中 ▶





活動を始める一歩を応援します。

障がい者の手作り品を、日ごろの「備え」にプラスしよう！

新型コロナウイルスの影響で、福祉事業所の販売イベントの多くが中止となり売り上げが激減しています。買い物をすることで、作り手である障がい者を応援することができます。今回は、たくさんの商品の中から災害時の「備え」に役立つものをご紹介します。

● 非常時も乾燥野菜で栄養をプラス

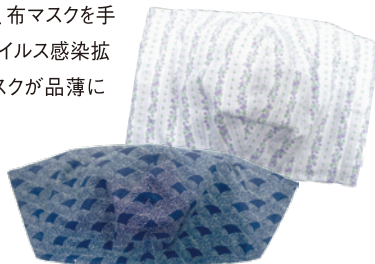
福祉事業所「ぱれっと・けやき宮城野」では、乾燥野菜を作り販売しています。普段の食事は勿論、災害時にも役立つ、その名も「べんりだ菜」です。非常時のお助け食材として、常備してはいかがでしょうか？



社会福祉法人ゆうゆう舎ぱれっと・けやき宮城野 店舗名：Ciao! (チャオ!)
〒983-0046 仙台市宮城野区西宮城野10-5 ソフィア宮城野 1-A
HP <https://parettaciao.wixsite.com/home>
TEL&FAX 022-257-5092

● 防災グッズに「お気に入り」をプラス

福祉事業所「はぴかむ」では、布マスクを手作りしています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、使い捨てマスクが品薄になったことから一般的になった布マスク。お気に入りのデザインで、備えに彩りを添えてはいかがでしょうか？



一般社団法人はぴかむ 店舗名：はぴ Café
〒984-0047 仙台市若林区木ノ下4丁目6-3 桜木一番館1F
FB facebook@はぴかむ TEL 022-297-8890



サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

もう大丈夫

著者の玄秀盛さんは、暴力や金銭トラブルなど、様々な事情に悩み苦しむ人を救済するため、公益社団法人日本駆け込み寺を創設し活動しています。「たった一人のあなたを救う」をモットーに、これまで3万人以上の相談者に応じてきました。そんな玄さんが伝える、時に厳しく、時にやさしい数々の言葉は、自分が取り組みたい社会課題に気づけるきっかけになるかもしれません。



著者名 玄 秀盛
発行所 KKロングセラーズ



読者から社会の気になる、あんなこと、こんなことを紹介します。

コロナ禍でも社会への関心を失わないために

私が大事にしているのは、自分が暮らす社会の現状を知ることです。その一つの方法として、以前から路上生活者支援を目的とした夜回り活動に参加しています。新型コロナウイルスの影響で参加不可になりましたが、物資支援を続けています。最近では、同じ路上生活者を支援するNPO法人萌友や、NPO法人ふうどばんく東北AGAINに寄付をしました。お礼の電話やハガキが届き嬉しかったです。何よりお電話などで聞かせていただいた活動報告はとても貴重なお話でした。社会課題に取り組む現場の声は、私にとって「今」を知る大事な手がかりだからです。

(矢坂 健さん 仙台市青葉区 20代)



▲フードバンクに寄付された食料は、こども食堂や生活困窮者に届けられます

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 7月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>
[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>
[ツイッター] @SCSC4CA

「ぱれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ぱれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。
ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター)
発行日 2020年7月1日
デザイン PEACE Inc.

「ぱれっと」紙面についてのお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、社会情勢の変化が著しい中、市民活動の現場で起こっている状況に柔軟に対応するため、2020年7月号より紙面構成を変更しました。引き続きご愛読よろしくお願い致します。